

第4節 環境課

〔総括概要〕

今日の環境問題は、ごみの不法投棄・野外焼却、河川や土壌の汚染、騒音、悪臭の問題など、市民の日常生活に直接関わるものから、地球温暖化、自然破壊による生物多様性の減少など、人類への影響のみならず、地球上の生命の生存そのものを脅かすものまで、複雑・多岐で深刻な課題を抱えており、その解決のためには、地域はもとより、全世界を挙げた取組を進めることが求められている。

これらの課題等に対応し、環境行政の円滑で積極的な推進を図るため、環境課においては、2担当3チームの体制により事務を推進している。

具体的な取組として、環境政策担当では、平成23年度に施行した環境基本条例に基づき市民、事業者、市が、それぞれの責務を自覚し、行動し、相互に協力し、一体となって「環境都市とちぎ」を目指して取組を進めていくため「環境基本計画」を策定した。

また、「環境基本計画」を普及させるため、重点的に取り組む課題として掲げた「渡良瀬遊水地をはじめとした水辺と、森林・里地里山の保全・活用」を題材として総合政策課ワイズユース担当と共同し講演会を実施した。

また、資源循環型の社会づくりを目指し、家庭から出る生ごみの自家処理を進めるための補助事業を推進したほか、レジ袋の削減を推進するため、大型食品スーパーを所有する事業者6社と協定を締結し主に地球温暖化問題やごみ減量・リサイクル等についての啓発や、出前講座をはじめとする環境学習の推進に努めた。

環境保全担当では、栃木市斎場の運営について、平成23年12月22日公募型プロポーザル方式により指定管理者を選定し、平成24年度から平成28年度までの5年間の指定管理者制度を導入した。

また、公害対策については、県からの権限移譲に対応しつつ、県と連携して公害発生原因者への指導等を行うとともに、土砂等の埋立てによる土壌汚染と災害の発生防止を図ったほか、聖地公園及び市有墓地の円滑な管理・運営に努めた。

また、家庭から排出される一般廃棄物の収集を円滑に進めるため、分別収集を徹底し、ごみの減量化・資源化に努めた。

また、環境美化の向上を図るため、栃木市全域に地域クリーン推進員を配置し、生活環境や公衆衛生の向上のため市民意識の啓発推進に努めたほか、自治会等による清掃活動への協力、不法投棄監視員による域内のパトロールおよび不法投棄ごみの回収等を行った。

環境政策担当

1 栃木市役所エコオフィス推進実行計画

地球温暖化対策推進法に基づく地方公共団体実行計画として策定した栃木市役所エコオフィス推進実行計画の庁内周知のため、エコ推進員を選任し、研修会を実施した。

- ・計画期間 平成23年度～平成27年度
- ・計画目標 平成22年度と比較し、温室効果ガス排出量や燃料使用量等を5%以上削減する。
- ・研修実施状況

実施日	場 所	参加人数
12月26日(木) 1月16日(木)	西方総合文化体育館	107人

2 環境基本計画普及事業

環境基本計画の重点課題として「渡良瀬遊水地をはじめとした水辺と、森林・里地里山の保全・活用」を掲げており、また、平成24年度にはラムサール条約登録湿地となったことから、環境の啓発と渡良瀬遊水地の周知のため講演会及びパネルディスカッションを実施した。

- ・日 時 1月13日(月・祝) 午前10時～
- ・場 所 栃木文化会館
- ・講 師 東京大学名誉教授 養老 孟司氏
- ・パネリスト 東京大学名誉教授 養老 孟司氏
宇都宮大学教授 赤塚 朋子氏
利根川上流河川事務所長 須見 徹太郎氏
- ・コーディネーター 栃木市長 鈴木俊美
- ・内 容 講演「自然を手入れする大切さ」
パネルディスカッション「人と自然の上手な関係」
- ・参加人数 409人

3 環境基礎調査事業

(1) 河川等水質調査

市内を流れる河川等について、次のとおり水質調査を実施した。

- ・調査河川 瀬戸ヶ原用水、清水川、永野川、巴波川、荒川、杳冷川、県庁堀川、赤津川、猿湊川、江川、蓮花川、旧渡良瀬川、市内用水
- ・調査期間 通年
- ・調査項目 pH、BOD、SS、DO、大腸菌群数、全窒素、全リン、全クロム、COD

(2) 巴波川流入支川水質調査

巴波川に流入する支川について、次のとおり水質調査を実施した。

- ・調査地点 15地点

巴波川上流、旧巴波川、荒川、旧赤津川、嘉右衛門橋上側溝
常盤橋上側溝、県庁掘北、県庁掘南、清水川、清水川分流
開明橋下側溝、新橋上側溝、杳冷川（新橋上流）
県営城内町住宅南東、愛宕橋南右岸

- ・調査月日 10月25日（金）～11月22日（金）
- ・調査回数 1日4回（午前9時、午後1時、午後4時、午後7時）
- ・調査項目 BOD、SS、pH、流量

(3) 地下水水質調査

市内における地下水について、次のとおり水質調査を実施した。

- ・調査地点 市内30か所
- ・調査月日 3月12日（水）
- ・調査項目 全26項目

カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、ヒ素、総水銀、アルキル水銀
PCB、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、
1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、
1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン
トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン
1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ
ベンゼン、セレン、ホウ素、フッ素、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素

4 環境学習・啓発活動事業

(1) とちぎ市民環境まつりの開催

市における環境の現状と、環境に関する市民の先進的な取組を知らせることで、環境問題に対し、市民、事業者及び市が一体となって取り組み、市民一人ひとりの意識の高揚を図るため、とちぎ市民環境まつりを開催した。

- ・実施日 11月9日（土）午前10時～午後2時30分
- ・会場 市民会館
- ・主催 栃木市、栃木市女性団体連絡協議会
- ・開催内容 市民、企業、学生、行政機関による各種展示
- ・来場者 約1,000人

(2) 親と子の水辺教室の開催

市内の自然環境、特に河川の水質を守ることについての意識、関心を高めるとともに、親と子が協力し、ふれあいながら学べる体験学習の場を提供するため、親と子の水辺教室を開催した。

- ・実施日 8月3日（土）、4日（日） 午前9時～
- ・会場 永野川緑地公園パークセンター
- ・対象 市内小学校4年生から6年生までの児童及びその保護者
- ・講師 環境省登録環境カウンセラー
- ・参加者数 42人（8月3日の部 23人、8月4日の部 19人）

(3) 環境講座

市民団体、グループ、小中学校などの要請により、環境課職員が講師としてその会場に出向き、地球温暖化防止、ごみ減量・リサイクル、水質、廃油石けん作りなどの講義や説明等を行った。

- ・実施回数 13回
- ・参加者数 341人

5 ごみ減量化対策事業

(1) コンポスト容器の普及

生ごみの減量化を目的として、コンポスト容器の購入者に補助金を交付し、その普及を図った。

- ・申込基数 24基
- ・補助額 87,200円

(2) 機械式生ごみ処理機の普及

生ごみの減量化を目的として、機械式生ごみ処理機の購入者に補助金を交付し、その普及を図った。

- ・申込件数 16件
- ・補助額 320,000円

(3) 堆肥化促進剤の普及

生ごみの減量化を目的として、堆肥化促進剤の購入者に補助金を交付し、その普及を図った。

- ・申込件数 1件
- ・補助額 2,800円

(4) バイオ式生ごみ処理機

ごみの減量化事業の一つとして、生ごみを堆肥化するバイオ式生ごみ処理機を、栃木第三小学校、栃木第四小学校、栃木第五小学校、千塚小学校に導入している。

処理後にできた堆肥については、学校の花壇等で肥料として活用している。

また、余剰分については環境課で引き取り、市民への無料配布、協働まつり及びとちぎ市民環境まつりにおいて来場者への無料配布を行った。

- ・生ごみ処理量 11,510kg

(5) 資源物回収団体活動報償金

資源物回収を行う団体に対し、500キロ以上につきキロ3円（上限10万円）の報償金を交付し資源物回収活動の推進を行った。

- ・75団体 1,352,481キログラム

6 レジ袋削減の取組

地球温暖化防止対策の一環として、レジ袋削減の推進を図るため、商工団体、消費者団体、事業者及び行政で構成する栃木市レジ袋削減推進協議会を組織し、協議会会議を開催した。

また、栃木市のレジ袋削減推進協定にむけて各事業者と協働で取り組むため事業者と

の会議を行い協定の締結へと事業を進めた。

協議会ではレジ袋削減の取り組みとして3Rポスターの募集とマイバッグキャンペーンを実施した。

栃木市レジ袋削減推進協議会事業者会議（4月、7月）

栃木市レジ袋削減推進協議会（10月）

- ・実施日 10月16日（水）
- ・場 所 大平総合支所 別館3階 大会議室

栃木市レジ袋削減推進協定締結式

- ・実施日 1月30日（木）
- ・場 所 市役所 第5会議室
- ・締結事業者 イオンリテール(株)、(株)オータニ、とちぎコープ生活協同組合、
プラッツおおひら、(株)ベイシア、(株)ヤオハン

マイバッグキャンペーン

- ・10月15日～27日（1000個）
イオン栃木店、オータニ西方店、コープ栃木店、とりせん（大平店、藤岡店）、フジマート都賀店、ベイシア大平モール店、ヨークベニマル祝町店、ヤオハン（アイム店、大平店）
- ・各店舗マイバッグ配布100個
- ・無料配布中止店舗に対するマイバッグキャンペーン協力（600個）
イオン栃木店（平成25年11月1日から無料配布中止）
コープ栃木店（平成26年2月24日から無料配布中止）
ベイシア大平モール店（平成26年3月1日から無料配布中止）

7 狂犬病予防業務（栃木地域）

(1) 犬の登録（単位：頭）

新規登録数	登録抹消数	登録総数
302	206	5,000

(2) 狂犬病予防注射

ア 第1次集合注射

- ・実施期間 4月9日（火）～20日（土）
- ・実施会場 地域内29会場
- ・実施数 1,185頭

イ 第2次集合注射

- ・実施期間 10月13日（日）、14日（月）
- ・実施会場 地域内9会場
- ・実施数 293頭

ウ 個別注射

- ・実施方法 各動物病院等において個別に実施
- ・実施数 1,674頭

環境保全担当

1 斎場・霊きゅう車使用状況 (単位：件)

区 分	斎 場				霊きゅう車
	大 人	小 人	死産児	計	
市 内	1,332	5	17	1,354	1,173
市 外	120	0	0	120	25
計	1,452	5	17	1,474	1,198

2 改葬許可件数

・88件

3 動力噴霧機・草刈機貸出状況

自治会に対し、衛生害虫駆除のための動力噴霧機の貸出しを行った。また、市民及び自治会に対し病害虫発生の源となる雑草を刈るための草刈機の貸出しを行った。

・動力噴霧機 貸出回数 延べ 20台
 ・草 刈 機 貸出回数 延べ 162台
 刈払面積 延べ 59,965㎡

4 聖地公園墓所使用許可状況 (単位：区画)

種別及び面積	造 成 数	許 可 数
第1種（芝生墓所）5㎡	177	177
第2種（芝生墓所）6㎡	168	168
第3種（芝生墓所）5㎡	344	344
第4種（一般墓所）5㎡	152	152
第5種（芝生墓所）5㎡	555	554
第6種（芝生墓所）5㎡	198	198
第7種（芝生墓所）5㎡	600	592
第8種（一般墓所）5㎡	88	80
計	2,282	2,265

5 公害関係

(1) 大気関係

ア 光化学スモッグ注意報発令状況 (単位：回)

発令月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
発令回数	—	—	—	1	2	—	3

イ 大気汚染防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況

(単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他
大気汚染防止法に基づく届出	4	5	—	3
栃木県環境保全条例に基づく届出	—	—	—	—

(2) 水質関係

ア 地下水汚染地区の定期モニタリング調査

過去の地下水汚染状況の推移を監視するため、城内町2丁目周辺のテトラクロロエチレン汚染地区の1か所と木野地町、川原田町周辺のトリクロロエチレン汚染地区で2か所の井戸を選定し、地下水の水質調査を継続的に実施した。

- ・調査回数 年4回
- ・調査実施月 8、10、12、2月

イ 水質汚濁防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等届出状況 (単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他
水質汚濁防止法に基づく届出	6	20	30	1
栃木県環境保全条例に基づく届出	—	—	1	—

(3) 騒音関係

ア 自動車騒音常時監視業務

栃木県より平成24年4月から権限移譲を受けたもので地域の騒音暴露状況を経年的に統計立て監視業務を実施して環境省（環境大臣宛）に報告を行うもの。

栃木市は県からのデータを基に110か所の道路区間を5年間に分けて自動車騒音常時監視業務を実施する。本年は19か所の業務を実施した。

イ 騒音規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
騒音規制法に基づく届出	1	3	1	—	12
栃木県環境保全条例に基づく届出	—	7	1	—	1

(4) 振動関係

振動規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
振動規制法に基づく届出	1	1	1	—	9
栃木県環境保全条例に基づく届出	—	7	1	—	1

(5) その他

ア 公害苦情受付件

(単位：件)

大 気	水 質	騒 音	振 動	悪 臭	土 壤	その他	合 計
48	15	8	—	8	—	1	80

イ 栃木市ゴルフ場環境保全対策連絡協議会

総会において各会員へ決算報告及び事業計画を説明。例会においては次年度の総会にかける議案の説明と環境保全に関する研修会を行った。

区 分	開催日	開催場所
総 会	7月30日（火）	アゼリアヒルズカントリークラブ
例会・研修会	3月18日（火）	栃木カントリークラブ

ウ 鍋山地区環境整備懇談会

鍋山地区の粉じん公害問題解決のため、8月29日（木）に地元自治会代表と石灰企業各社立会いのもと現地調査を実施し、石灰企業各社に対して改善を要望した。

また、10月30日（水）に懇談会を開催し、地元要望事項について石灰企業各社と協議した。

エ 土壌汚染等の防止

土砂等の埋立て等による土砂汚染や無秩序な埋立て等に伴う災害の発生を未然に防止し、市民生活の安全と生活環境の保全を図った。

- ・土砂等の埋立て等事業許可件数 7件

6 地域クリーン推進員事業

地域クリーン推進員連合会の協力を得て、衛生害虫の駆除や、美化キャンペーン等を実施した。

- ・委嘱状況 地域クリーン推進員 394人

(栃木：173人、大平：46人、藤岡：104人、都賀：32人、西方：39人)

7 一般廃棄物の収集

5種13分別の分別項目のもと、もやすごみは原則として週2回、もやさないごみは月2回、資源物のうち、紙類は月1回、空カン・空ビン、ペットボトル・食品用トレイは月2回、それぞれの収集を委託により実施した。

粗大ごみは、申請に基づき、委託により有料にて戸別訪問収集を実施した。

また、休日・祝日等の犬猫等死体の収集を委託により実施した。

し尿収集及び浄化槽汚泥清掃については、許可業者が行った。

(1) ごみ収集搬入量

(単位：t)

もやすごみ	もやさないごみ	資 源 物			粗大ごみ	合 計
		紙 類	空カン 空ビン	ペットボトル 食品用トレイ		
23,630.84	1,728.87	2,067.54	962.06	332.75	411.72	29,133.78

(2) もやすごみの収集搬入状況 (単位：t)

直 営	委 託	直接搬入	合 計
478.07	15,176.45	7,976.32	23,630.84

(3) もやさないごみの収集搬入状況 (単位：t)

直 営	委 託	直接搬入	合 計
30.55	1,378.29	320.03	1,728.87

(4) 資源物の収集搬入状況 (単位：t)

種 類	直 営	委 託	直接搬入	合 計
紙 類	14.15	2,053.39	-	2,067.54
空カン・空ビン	0.07	952.42	9.57	962.06
ペットボトル・トレイ	-	329.33	3.42	332.75
合 計	14.22	3,335.14	12.99	3,362.35

(5) 粗大ごみの収集搬入状況 (単位：t)

直 営	委 託	直接搬入	減 免	合 計
13.75	30.95	359.50	7.52	411.72

(6) 休日・祝日等の犬猫等の収集搬入状況 (単位：頭)

犬	猫	その他	合 計
1	50	31	82

(7) し尿収集量及び浄化槽汚泥清掃量 (単位：k1)

し尿収集量	浄化槽汚泥清掃量	合 計
3,361.32	11,784.14	15,145.46

8 環境美化対策事業

(1) 環境美化キャンペーンの実施

市民や事業者の方々と相互に協力し、一体となって美化活動などを進めるため、次のとおり環境美化キャンペーンを実施した。

- ・実施日 4月13日(土) 午前9時～
- ・場 所 渡良瀬遊水地周辺
- ・内 容 ごみ拾い
- ・参加人数 約100人

(2) 市役所周辺清掃活動

市役所周辺の環境美化及び職員の美化活動の拡大を図るため、毎月初めに市職員のボランティアによる清掃活動を行った。

9 不法投棄監視事業

廃棄物の不法投棄及び不適正処理を防止し、良好な生活環境の保全を図るため、廃棄

物・土砂等埋立監視員を設置し、市内の巡回パトロール及び投棄物の回収を行った。

(1) 地区別不法投棄物回収件数

(単位：件)

区分 地区	生活系 廃棄物	家電 4品目	電化 製品	粗大 ごみ	産業 廃棄物	その他	計
栃木	54	13	4	41	-	13	125
大宮	34	5	5	29	3	5	81
皆川	25	10	8	6	1	4	54
吹上	24	6	4	13	-	12	59
寺尾	10	12	1	3	2	5	33
国府	44	18	11	16	3	13	105
計	191	64	33	108	9	52	457

※生活系廃棄物は1事例につき1件、それ以外は1台につき1件として集計

(2) 不法投棄調査件数

・ 17件（うち不法投棄者等指導 3件）